

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 August 31

■ 2016～2017年度方針

ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.8

例会報告

●第2141回例会 平成28年8月31日(水) 晴

●8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

●ロータリーソング 四つのテストのうち

●出席報告 会員 103 名中 (97) 出席73名

出席率75.26%

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

近畿大学医学部名誉教授 松尾 理氏

●ニコボックス

「本日の卓話講師は私の恩師 松尾理先生をお呼びしました。コーチングに関する凄なお話が聞けると思っています。ご清聴よろしくお願ひ申し上げます。」

高木一平会長

「先日は、ゴルフ通の会夜間例会に中条先生、上村先生、宮下さんを始め多数ご出席ありがとうございました。又、谷君、伊藤勝康君からはワインの差入れありがとうございます。バンドの皆さん盛り上げて頂きありがとうございます。おかげで盛んな会になりました。」

ゴルフ通の会前理事長 安井隆豊君

「先週のゴルフ通の会、夜間例会参加の皆様、ありがとうございました。今後も多くのご参加をお願いします。」

吉田正道君

「多治見市に合併された「笠原市」は桃山時代は日本代表する六窯の一つ、「美濃焼」の産地として栄えました。今は見る影もなく寂れましたが、タイル産業で、がんばっています。最近、藤森照信氏設計のモザイクタイル博物館を開館し地域活性化対策に取り組んでいます。パンフを用意しましたので、時には都会の喧騒を離れ「美濃路の旅」はいかがですか。」

鷲塚貞長君

「良い決算を出せました。でもアメリカはリーマンの後処理をいいかげんにしております。又来ると大変ですので年間売上げくらいの現金を持つ必要がありますね。」

加藤一郎君

「8月23、24日で駒ヶ岳2956Mに登ってきました。死にそうでした。」

上野山 進君

本日のニコボックス 6件 15,000円

累計 36件 255,000円

柏木博喜幹事報告

▽9月のロータリーレート

9月のロータリーレートは、1ドル102円です。

▽当クラブ行事予定

・8月31日(水) 本日、例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・9月14日(水) ガバナー補佐訪問日です。例会終了後、ガバナー補佐を交えてクラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長、新入会員のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

高木一平会長挨拶

“医師は理系か文系か”

今日は医師は果たして理系か文系かという話です。当たり前ですが医師になる為にはまず医学部に入らなくてはなりません。医学部の入試は一般的には理系の科目の点数が重視されています。数学、物理、化学、生物などですが、ついでに英語も重要科目です。しかし国語に関しては旧帝大医学部以外、入試科目に入っていない大学が殆どです。

医療現場では常に様々な問題がおきていますが、医師と患者の間のトラブルの多くは医師の発する言葉の問題から発生しています。例えば癌の告知と余命宣告など最たるものです。いきなり「あなたはあと3ヶ月です」などと平然と、しかも軽く言い放つ医師が若い世代には結構多いのです。それを言われて絶望の淵に立たされる患者のこれからの人生を支えて受け止める度量も人間性も何もないくせに!

それに加えて最近の医師は治療の結果が悪いと訴訟沙汰になるのを恐れるあまり、最初から病気について非常に悲観的な伝え方をします。悲観的に言えば悪い結果になっても患者は文句を言わないだろうと思っている節があります。医師は本来ならば治療において常に希望を示して、前向きに患者を励まさなければならぬ立場にあるはずです。これらは誠に由々しき現象です。

たしかに医学はサイエンスですから一定以上の理系的な思考能力は必要不可欠です。とくに研究者などはこの能力が優れていなければノーベル医学生理学賞は狙えません。しかしこういう現状を見ていると、一般の医師の仕事は理系一辺倒の思考だけでは到底務まらない

事が分かります。つまり総合的な人間力が必要であり、それを培うのは理系ではなく、文系的な教養しかありません。文学的素養を養いながら人間という存在をよく知るにつきますのです。沢山の本を読み、その中から生きた教養を学び、自分のものとして、命を生かす言葉患者の為に使う、これが本当の医師のあり方です。

結論、医学部の入試には国語が必要です。

卓 話

モチベーションを行動科学的に学習して自律的行動を促す！

——若い人に積極的に動いて貰うには——

近畿大学名誉教授・モチベーションマネージャー

松尾 理



学習の方法として講義、実習、討論などいろいろありますが、効果が一番低いのは講義です。皆様も学生時代を思い出して頂ければ、いろんな講義を聞かれたけど、科目名とその講義をした教員の顔が浮かぶぐらいのことが多いでしょう。講義の成果として、わずか5%としか残らないと言われるのです。そのため、本卓話では、講義と演習を織り交ぜた形式にし

ます。

若いヒト（職場のスタッフ、部下など）をその気にさせ、積極的に仕事をして成果を上げて貰う一つの方法として、目標達成したら賞品を上げると言うやり方があります。外発的モチベーションと言ひ、それなりに効果がありますが、欠点があります。それは、賞品を出さないと仕事しなくなり（内発的モチベーションの欠如）ますし、賞品も段々高額なもの、貴重なものにしないと動かなくなり（報酬依存性）ます。

組織の幹部（トップ）として、スタッフに話す時、言葉以外に非常に多くの情報がスタッフに伝わっていることを意識して下さい。言葉での伝達はわずか7%で、それ以外は表情や言葉の調子などでスタッフに伝えられているのです。また、同じ言葉でも、話し手の機嫌が良い時と悪い時とでまったく異なって伝えられてしまいます。絶えず笑顔を忘れないで下さい。

最近の発見として、脳にミラーニューロンがあり、相手の動作を見ただけで活動することが分かってきました。ですから、良い見本として振る舞って下さい。

モチベーションの理論には沢山ありますが2つだけ紹介します。X理論と言うのは、ヒトは生まれつき仕事が好きなので、強制、命令、統制がないと仕事しないという考え方です。これに対してY理論は、意欲がないように見えるのはそのような場に遭遇しなかっただけで、生まれつきのものではない。ヒトには隠された多くの能力があるのに、それに気が付いてないだけだという考え方です。皆様方が職場のスタッフに対して、X理論で臨むか、Y理論で臨むかで、スタッフの心意気が大きく変わってきます。

皆様方の存在そのものを考えると、組織のトップとしての孤高のエージェントのとらえ方と、みんなと一緒にというコミュニケーションと言うとらえ方の2面があります。子供さんやお孫さんの世代へ継承する時、一人で生きて

いる訳でないので、次の世代に意味のあるものを社会に遺すプロセスを通して若いヒト（スタッフ、あるいは家族）を育成していく責務があると思います。

つまり、幹部（トップ）として、何かを成し遂げることを喜びとする達成動機以外に、ヒトとともにいることを嬉しく思う親和動機があり、他の人々（スタッフ、部下）に影響力を振るうことにかかわるパワー動機があるのです。従って、世代の連鎖を次世代までつなげ、将来につながる世話と責任に関わっていると云えますし、そのような自覚が必要であります。

やる気の脳科学として、脳の報酬系を上手に利用（本人もスタッフも）することで組織のやる気が上がってきます。その時1回しかると、3回くらい褒めないスタッフは委縮してしまいます。スタッフから見れば、上手に褒められると、自己効力感や有能感が出てきて、自信につながります。そして、内発的モチベーションが高くなっていくのです。つまり、若い人の内なる心にやる気の火を灯すのです（そのやり方は、別途指南することにしてしましよう）。そのため、

若い人の内なる心に火を灯そう！



上手な承認の仕方、ほめ方など、これからもいろいろ学ぶ必要があります。継続的に学ぶことは、脳の機能低下を防ぎます（ボケ防止になるのです）。

ご質問などは、matsuo-o@med.kindai.ac.jp 松尾理へメール下さい。

●第2回理事会（平成28年8月31日（水）例会終了後ウェスティンナゴヤキャッスル）

- ・新入会員 山下寛高（やました ひろたか）氏 入会の件
紹介者 田中正次君、山村博伸君
- ・2015-2016年度収支決算の件
- ・その他

●9月度誕生日祝福

会 員

ご 夫 人

松下 剛 君(9月1日)	黒田史郎 夫人(9月1日)
平木聖三 君(9月4日)	谷 喜久郎 夫人(9月8日)
田中知克 君(9月4日)	富島照男 夫人(9月11日)
加治佐健二 君(9月6日)	田尻幹夫 夫人(9月12日)
夏目 稔 君(9月10日)	田中正次 夫人(9月17日)
加藤寿彦 君(9月14日)	武藤茂樹 夫人(9月19日)
宮下幸二郎 君(9月21日)	二村伝治 夫人(9月21日)
伊藤尚貴 君(9月22日)	山本秀樹 夫人(9月26日)
大森和仁 君(9月24日)	
山田和弘 君(9月26日)	
川中有志 君(9月29日)	

例会	月日	今後の予定
第2142回	9.7	RI第2760地区国際奉仕委員会委員 平野 恒弘氏 「私のミャンマー支援」
第2143回	9.14	柴田 幸男東名古屋分区 ガバナー補佐訪問日

○このウィクリーは再生紙を使用しております。